

《令和5年度 研究会活動紹介》

研究会名	代表者氏名
仏教文化におけるメディア研究会	森 覚
研究会名 略称:メディア研	所 属:大正大学 非常勤講師
活 動 紹 介	
<p>【活動内容】 仏教文化におけるメディア研究会は、宗教表象としてのメディア表現を手がかりとして仏教文化の諸相を明らかにする共同研究を2013年から続けています。時代と共に移り変わる思想・価値観・通念・習慣・政治・経済・技術・学術・美術・階級・ジェンダーなどを反映させ、各時代の人々が抱く願望や要請へ応じながら創出され、創りかえられてきた仏教のイメージを考察すると共に、近現代の仏教文化に果たしたメディアの役割について考究しています。 2021年からの第三期活動では、学僧や知識人が牽引した思想や実践に関する論考が多い近代仏教研究の現状を踏まえ、近代日本において読む・観る・聞くというメディアからの身体体験を通して、様々な立場の人々・民衆が接した仏教文化を研究しています。</p>	
<p>【活動実績】※出版/論文/受賞・研究助成の経歴など 森 覚編『メディアのなかの仏教』(勉誠出版、2020年). 森 覚「明治十五年の草双紙『開化地獄論』—啓蒙主義と仏教—」(『大正大学総合佛教研究所年報』43号、2021年). オンライン・シンポジウム「仏像とフィギュア—現代における仏の意味—」(2022年、株式会社 海洋堂 協力)</p>	
<p>【令和5年度活動計画】 現在、第三期活動の研究成果である研究論集『読んで観て聴く—近代日本の仏教文化(仮)』の出版編集に取り組んでいます。本年度内に京都の法蔵館より刊行する予定です。また、次期活動を見据えて、宗教表象としてのメディア表現にもとづく研究テーマの模索にも取り組み、仏教表象・仏教文化研究の新たなアプローチを開拓します。</p>	